

株主通信

第164期のご報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

June
2021



世界的な未来を築く。

 日本化薬

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第 164 期（2020 年4月1日～2021 年3月 31 日）の概況をご報告申し上げます。

当期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた経済活動の抑制などの影響により、景気は総じて減速傾向にありました。米国および欧州では景気が急速に悪化したものの、各国の感染防止対策や経済対策などの下支えにより、個人消費や企業収益などに緩やかな持ち直しの動きがみられました。中国では経済活動の再開を受け、景気の回復傾向が続きました。日本経済は個人消費や企業収益などに持ち直しの動きがみられるものの、感染症の収束時期は見通せておらず、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは 2019 年度にスタートさせた中期事業計画“**KAYAKU Next Stage**”の重点テーマと中長期重点課題に取り組むとともに、企業活動が制限された状況下において時差勤務やテレワークなどの積極的な活用により、当社ならびに当社グループ会社に勤務する従業員の安全を確保しつつ、事業への影響を最小限に抑制すべく新しい生活様式を実践し、効率的な働き方を推進しました。

この結果、当期の連結売上高は、機能化学品事業と医薬事業が前期を上回ったものの、セイフティシステムズ事業が前期を下回り、1,733 億8千1百万円と前期に比べ 17 億4千1百万円（1.0%）減少しました。

連結営業利益は、医薬事業が前期を上回ったものの、

機能化学品事業、セイフティシステムズ事業が前期を下回ったことにより、151 億9千4百万円と前期に比べ 22 億9千1百万円（13.1%）減少しました。

連結経常利益は、165 億3千8百万円と前期に比べ 14 億8千7百万円（8.3%）減少しました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、125 億7千4百万円と前期に比べ2億4千1百万円（1.9%）減少しました。

当期の期末配当金につきましては、1株当たり 15 円を予定しております。これにより、中間配当金と合わせて、年間配当金は1株当たり 30 円となります。

機能化学品事業は、情報・通信分野における高速通信（5G）の普及や自動車の高度電装化に向けた基板用高性能樹脂、炭素繊維強化プラスチック用エポキシ樹脂、半導体用クリーナー、色素材料事業では産業用インクジェット用インクをはじめイメージセンサー用材料、調光ガラス用二色性色素、触媒事業では省エネ・省資源に貢献するアクリル酸やメタクリル酸製造用高収率触媒、水素社会の実現に貢献する太陽光を利用した完全グリーンな水素製造用触媒、ポラテクノ事業では車載領域で求められるヘッドアップディスプレイ用高耐久偏光板、高出力の X 線分析装置部材といった特徴ある製品の開発に取り組んでまいります。

医薬事業は、バイオ医薬品の新薬「ポートラザ®」の市場浸透を図ってまいります。加えて、抗体バイオシミラーの「トラスツズマブ BS」、「インフリキシマブ BS」の更なる市場浸透、特徴あるジェネリック医薬品を含めたがん関連領域での製品ラインアップの拡充に取り組んでまいります。

セイフティシステムズ事業は、エアバッグ用インフレーターやシートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーター、スクイブ、歩行者保護ボンネット跳ね上げ装置用アクチュエータなどの新製品開発に努めてまいります。また、自動運転技術の急速な進化に対応した安全部品の開発にも注力してまいります。

当社グループの企業ビジョンは、**KAYAKU spirit**「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」です。今後も、安全操業、コーポレートガバナンスやコンプライアンスの徹底、環境への配慮を重視し、高い倫理観をもった CSR（企業の社会的責任）経営を行い、持続可能な社会に貢献するとによりすべてのステークホルダーの信頼にお応えしてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

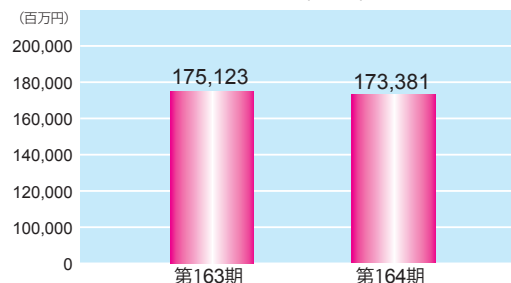
2021 年6月



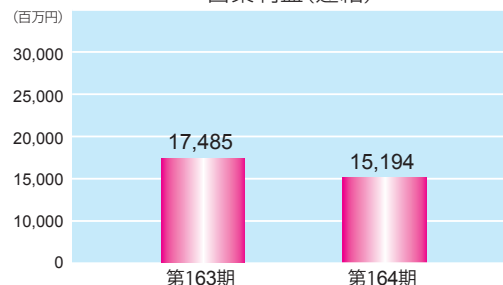
代表取締役社長

西田 元厚

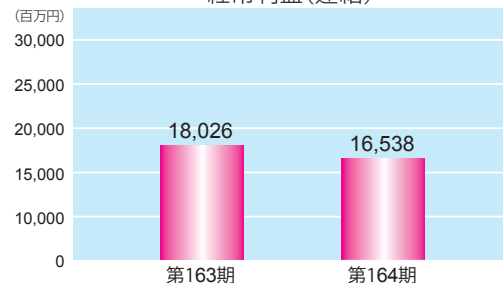
売上高(連結)



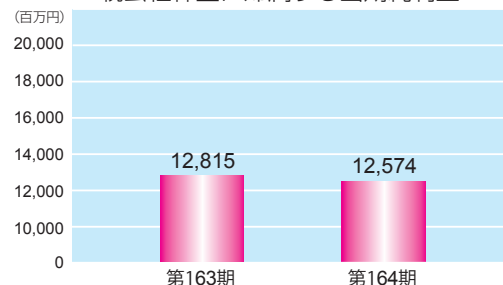
営業利益(連結)



経常利益(連結)



親会社株主に帰属する当期純利益



中期事業計画 “KAYAKU Next Stage”

当社グループは、2019 年4月より3ヵ年中期事業計画“KAYAKU Next Stage”に取り組んでおります。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、最終年度である2021年度の数値目標の達成は困難な状況ですが、引き続き成長分野への投資や事業基盤の強化に取り組み、早期に成長軌道へ回復してまいります。

中期事業計画の主な成果

機能化学品事業

- ヘンケル社より LCD・半導体用クリーナー事業を譲受
- 半導体装置メーカー ティコクテーピングシステム社の株式取得
- 触媒事業は 109 億円と過去最高売上達成（2020 年度）
- ポラテクノ事業を当事業へ取込み

医薬事業

- バイオシミラーが大きく伸長
- 肺がん治療薬「ポートラーザ®」を発売

セイフティシステムズ事業

- エアバッグ用インフレーターの販売が進捗
- 新領域として、ドローン用安全部品の開発が進捗

中期事業計画の実績と2021年度計画

単位：億円

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
	実績	実績	計画
連結売上高	1,751	1,733	1,760
連結営業利益	174	151	124

TOPICS

物流、測量、点検、災害救助などの分野でドローン（無人航空機）の利活用が世界的に進められています。日本化薬では、エアバッグ用インフレーターやシートベルト用ガス発生装置等の自動車用安全部品で培った火工品技術を応用して、ドローン用パラシュート安全装置を開発しています。ドローンの落下を検知し、火工品を作動させることで、高速でパラシュートを展開し、安全にドローンを降下させる装置です。ドローン機体本体、搭載物、人命を守り、社会におけるドローンの活躍の場をさらに広がられます。今後も、ドローン産業におけるニーズをもとに、様々なドローンにマッチする製品開発を進め、2021 年度中の量産化を目標にしています。

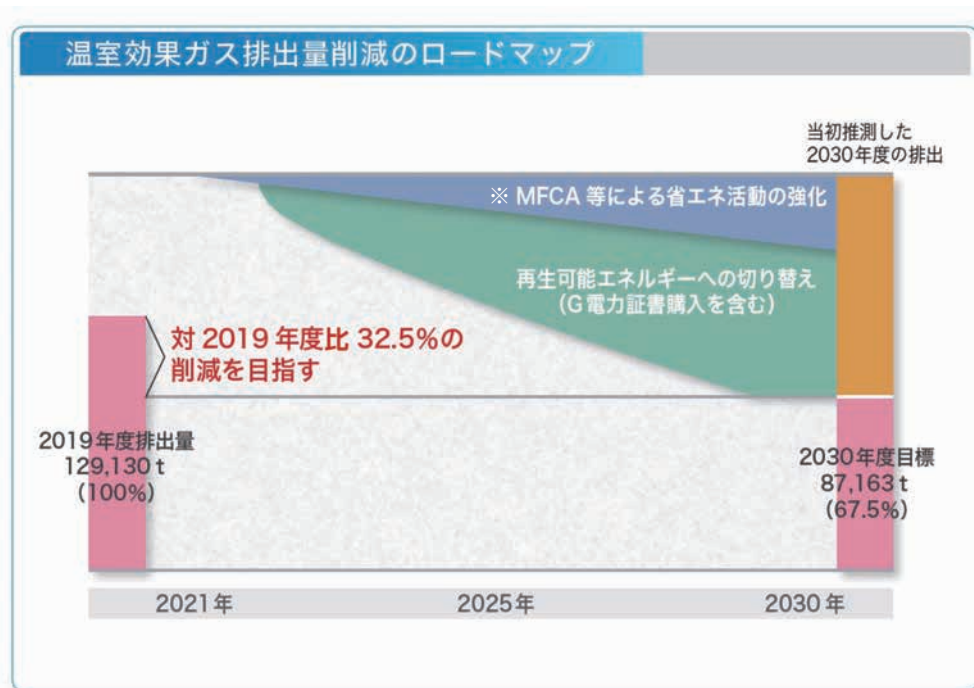


日本化薬グループの環境への取り組み

当社グループでは、中期 CSR アクションプランの行動計画に則り、2030 年度中期環境目標を策定しました。環境目標の集計の範囲を日本化薬単体から海外グループ会社を含めたグループ全体まで拡大して、事業活動で排出する 2030 年度の温室効果ガス排出量（スコープ 1+2）を対 2019 年度比で 32.5%削減することを目標として決めました。生産工程へコストダウンと両立できる CO₂ 削減手法を積極的に整備すること、排出係数の低い電力へ変換すること、社内の環境表彰へ温室効果ガス削減を評価項目として導入すること、などの取り組みに着手し、目標達成に向けた活動を推進しています。

2030年度中期環境目標

地球温暖化防止のため、2030年度の温室効果ガス排出量（スコープ1+2）
を対2019年度比で32.5%削減する



(注) ※MFCA：マテリアルフローコスト会計～生産工程における原材料や資材のロスを物量およびコストで見える化する環境管理会計手法

事業別の概況（連結）

1.機能化学品事業

売上高は724億6千5百万円と前期に比べ9億2千4百万円（1.3%）増加しました。

機能性材料事業は、高速通信（5G）デバイスやIoTの普及、自動車の高度電装化に加え、テレワークなどによるIT機器の需要増により、半導体向けエポキシ樹脂が好調に推移しました。また、事業譲受により新たに加わったLCD・半導体用クリーナーも業績に寄与したことにより、機能性材料事業全体では前期を上回りました。

色素材料事業は、在宅勤務による印刷需要が増えたことによりコンシューマ用インクジェットプリンタ用色素が好調に推移したものの、産業用インクジェットプリンタ用色素、感熱顕色剤および繊維用染料が低調に推移したことにより、色素材料事業全体では前期を下回りました。

触媒事業は、国内、輸出ともに好調に推移し前期を上回りました。

ポラテクノ事業は、X線分析装置用部材が好調に推移したものの、液晶プロジェクター用部材および染料系偏光フィルムが低調に推移したことにより、ポラテクノ事業全体では前期を下回りました。

2.医薬事業

売上高は504億4千1百万円と前期に比べ26億6千7百万円（5.6%）増加しました。

国内向け製剤は、前年から二度の薬価改定の影響を受けたものの、バイオ医薬品の新薬「ポートラーザ®」の市場浸透、バイオシミラーへの切り替えが進み、特に抗体バイオシミラーの「トラスツズマブBS」、「インフリキシマブBS」の伸長と新製品の「アブレピタントカプセル」が寄与したことにより、前期を上回りました。

受託事業は前期を上回りましたが、輸出、診断薬は、新型コロナウイルス感染症の拡大により前期を下回りました。

3.セーフティシステムズ事業

売上高は419億9千7百万円と前期に比べ49億9千3百万円（10.6%）減少しました。

当期の自動車生産は、上半期には新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により大幅に減少しましたが、下半期には急速な回復がみられました。

しかしながら、中国を除く地域の自動車市場が低調に推移したことにより、国内事業、海外事業ともにエアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーターおよびスクイブは前期を下回りました。

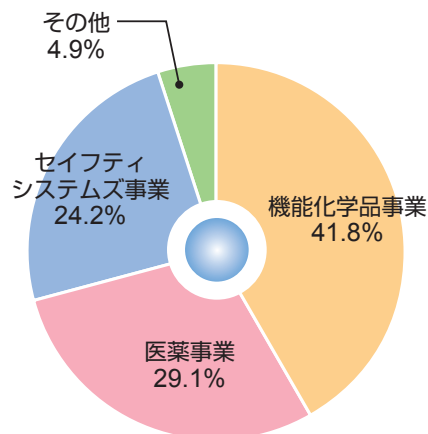
4.その他

売上高は84億7千7百万円と前期に比べ3億4千万円（3.9%）減少しました。

アグロ事業は、国内は前期を上回りましたが、輸出は前期を下回りました。

不動産事業他は、前期を下回りました。

売上高構成比（連結）



CSR（Corporate Social Responsibility）活動

「令和2年安全功労者内閣総理大臣表彰」受賞

鹿島工場は、1982年の操業開始以来、37年間にわたり無災害を継続しているなど、労働災害の防止および産業安全水準の向上に貢献したことが評価され、「令和2年安全功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。本表彰は、毎年7月1日を「国民安全の日」として交通安全や火災予防など、国民の安全の確保について顕著な功績をあげた個人または団体を内閣総理大臣が表彰するものです。

本受賞はこれまで工場運営に尽力してきた諸先輩と現従業員の安全操業に対する取り組みの賜物です。2021年3月31日には連続無災害日数14,000日を達成しましたが、無災害記録に終着点はなく絶えず通過点です。ほんの小さなことがきっかけで事故が発生すれば立派な記録も無となります。今後とも全従業員が一丸となり安全操業に努め、事故・災害の未然防止に取り組んでいきます。



新型コロナウイルス収束祈願&医療従事者への感謝を込めて 厚狭工場にて花火打ち上げ

コロナ禍によりさまざまなイベントが中止になる中、厚狭工場でも「わっしょい!カヤク祭り」が中止になり、何とか地域に活気をもたらすイベントができないかと検討を重ねた結果、医療従事者や地域の皆さまへの感謝を込めて、厚狭・厚狭地区の2カ所で花火を打ち上げることになりました。

7月23日(木・祝)の打ち上げ当日は朝から大雨でしたが、打ち上げ直前には雨も落ち着き、無事打ち上げることができました。花火は2寸玉～4寸玉の計75発で3分程度。花火を鑑賞された方々からは「明るい気持ちになった」「ありがとう」など感謝のお言葉をいただき、花火を企画した成果があったと考えています。花火にはもともと疫病退散祈願の意味もあったとされています。新型コロナウイルスが1日も早く収束し、平穏な日々が過ごせることを願っています。



TOPICS

当期のトピックス

テイコクテーピングシステム株式会社の株式を譲受しました

2021 年 2 月、半導体製造装置メーカーであるテイコクテーピングシステム株式会社（TTS 社）の株式を 4 月に譲受することを発表致しました。

TTS 社は、半導体製造工程におけるドライフィルムレジスト、バックグラインド保護テープ等を「はる」「はがす」「はこぶ」装置に特化した特殊装置をグローバルに供給しており、世界的半導体・電子デバイス大手企業とのビジネスを展開しております。一方、機能性材料事業部では、半導体・電子デバイス分野にて封止材用エポキシ樹脂、フォトレジスト、半導体工程用洗浄液など、素材の展開を強化し将来の事業拡大を目指しております。この度半導体製造装置のビジネスを展開することで、より半導体事業の中で領域を拡大して成長を図り、事業目標の達成に注力していきます。

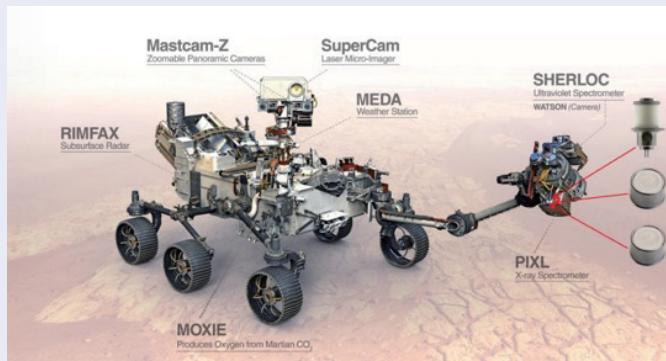


ウエハーテープラミネーター

MOXTEK社(米国子会社) 再び宇宙へ — 火星探査機パーセヴェランス 火星着陸

2021年2月、火星探査機パーセヴェランス(NASA)が無事火星に着陸しました。パーセヴェランスのアーム部分には、X線分光装置が搭載されており、この装置の中にMOXTEK社の製品(X線管、X線窓材)が搭載されています。

現在、パーセヴェランスのアーム部分のX線分光装置がデータ収集を行っています。期待通り微生物からのみ生じる微細な物質(元素)を発見し、「歴史に刻まれる快挙にMOXTEK社が貢献した」といえることを、心から願っています。



パーセヴェランス (MOXTEK の製品内蔵)
シミュレーション画像 (NASA 提供)

土壌くん蒸剤ラインアップ拡充

2020年10月に土壌くん蒸剤である商品名「テロン™」、「旭D-D」(有効成分:1,3-ジクロロプロペン)をテロス・アグ・ソリューションズ株式会社と共同販売することに合意し、2021年1月から販売を開始しました。

土壌くん蒸剤のラインアップにこれらの製品を加え

ることによって、土壌処理剤としても使用するダイアジノンなどの製品とともに、土壌分野の防除にトータルソリューションを提供できるようになりました。今後とも食糧供給を支え、持続可能な農業の発展に貢献し続けるべく邁進して参ります。

日本化薬グループの主要な事業紹介

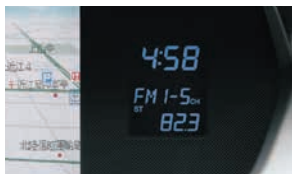
機能化学品事業

情報・通信、デジタル印刷、省エネルギー、省資源分野

樹脂技術、色素技術、触媒技術、光学加工、X線技術をコアとし、特徴ある機能を備えた製品を提供しています。

機能化学品事業は、2020年度より4事業部で構成されています。機能性材料事業部では、5G対応のデバイス向けのエポキシ樹脂や新規マレイミド樹脂、紫外線硬化型樹脂などの機能性樹脂、更にLCD・半導体用のクリーナー事業を扱っています。これらに2021年4月に買収を完了したティコクテーピングシステム(TTS)社の半導体製造装置のビジネスが加わりました。色素材料事業部では、インクジェットプリンター用インク、繊維用・紙用染料、感熱顕色剤、車載・センサー用機能性色素などを、触媒事業部では、アクリル酸・メタクリル酸製造用触媒を扱っています。またボラテクノ事業部では、車載ディスプレイ用、アイウェア用、プロジェクター用などの特徴ある偏光板やX線分析装置用部材を手掛けております。

このように樹脂・色素・触媒・光学加工やX線の技術を応用し、環境に配慮した製品を『情報・通信・デジタル印刷・省エネルギー・省資源・センシング』等の分野に幅広く提供して参りました。現在、環境負荷低減、CO₂排出量の削減にも積極的に取り組み、お客様そして社会のニーズにお応えできる特徴ある機能化学品を提供し続け、人びとの安心・安全な暮らしを守り、IoT社会や多様なモビリティ社会を支え、「超スマート社会」と「SDGs」の実現へ貢献していきます。



車載用偏光フィルム



液晶シール剤



環境対応型半導体封止材用
エポキシ樹脂



液晶プロジェクタ用部材



感熱紙用顕色剤



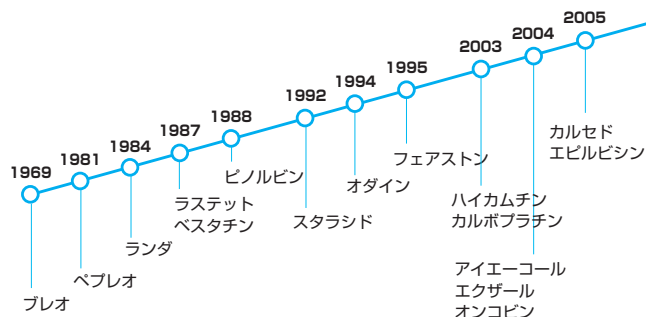
インクジェットプリンタ用色素



触媒



繊維用染料



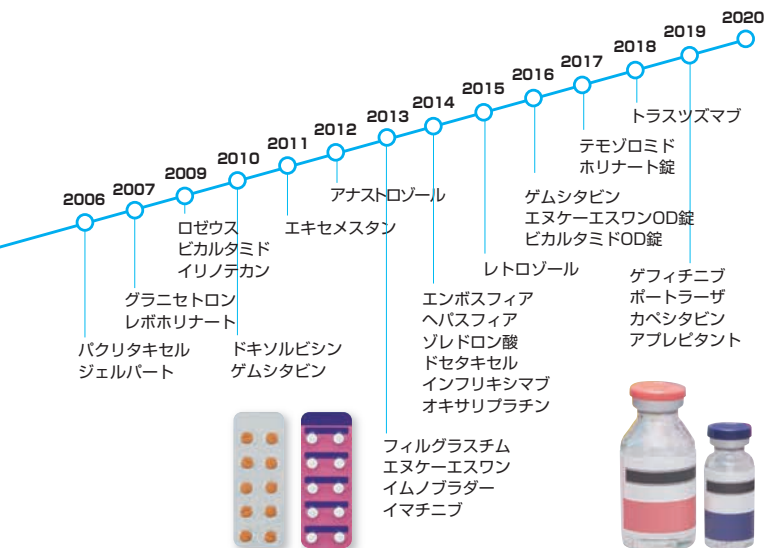
医薬事業

医療分野

がん関連事業を中心に、新薬からジェネリックそしてバイオシミラーまで、医療現場に製品を提供しています

当社の抗がん薬の歴史は、1969年の「ブレオ®」の発売に始まり、現在、抗がん薬およびがん関連薬剤のラインアップは、ジェネリック薬も含めて41種類にのぼっています(2021年3月31日現在)。がん関連製品のラインアップ数は国内製薬メーカー最多で、がん領域に関する信頼性の高い情報とともに医療機関に提供しています。

また、バイオテクノロジーや高分子技術を用いた創薬研究・開発を進めるとともに、バイオシミラーの開発も手掛け、2019年11月には、バイオ新薬「ポートラザ®」を発売し、市場浸透を図っております。医薬事業は、「得意技術によるイノベーションの推進、高品質な医薬品の安定供給、情報提供により、医療の向上を通じて社会に貢献する」ことを目指しています。



セーフティシステムズ事業

安全分野

自動車安全装置の部品であるインフレーター、マイクロガスジェネレータなどを製造しています

セーフティシステムズ事業は、姫路工場での雷管製造と厚狭工場での火薬製造の長い歴史から、点火・起爆装置および火薬燃焼に関する卓越した技術を持っています。これらの技術を応用展開して、エアバッグを膨らませるためのガス発生装置「インフレーター」と、衝突時などにシートベルトを巻き取る装置、また歩行者との衝突時に歩行者の頭部保護のためにボンネットを跳ね上げる装置など、様々な用途に展開されている「マイクロガスジェネレータ」、そしてそれらの点火装置「スクイブ」を独自に開発してきました。

現在、グローバルに事業を展開し、日本、チェコ、中国、メキシコ、マレーシアの5つの生産拠点から、世界中の人々の安全に貢献しています。

マイクロガスジェネレータ

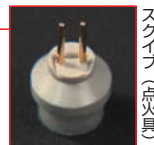
マイクロガスジェネレータから発生するガスの力でシートベルトの緩みを巻き取ります。



シートベルト



マイクロガスジェネレータ



スクイブ (点火具)



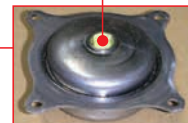
エアバッグ



ステアリング

インフレーター

インフレーターから発生するガスでエアバッグが開きます。



インフレーター

連結財務諸表（要旨）

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当連結会計年度末 (2021年3月31日現在)	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)
（資産の部）		
流動資産	156,852	153,102
固定資産	137,683	125,393
有形固定資産	88,980	85,960
無形固定資産	6,837	3,362
投資その他の資産	41,864	36,071
資産合計	294,535	278,496

科 目	当連結会計年度末 (2021年3月31日現在)	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)
（負債の部）		
流動負債	37,491	38,800
固定負債	28,769	29,676
負債合計	66,261	68,477
（純資産の部）		
株主資本	214,420	206,975
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	15,754	15,757
利益剰余金	191,606	184,156
自己株式	△7,872	△7,871
その他の包括利益累計額	13,085	2,369
非支配株主持分	767	675
純資産合計	228,273	210,019
負債及び純資産合計	294,535	278,496

- 総資産は2,945億3千5百万円となり、前期末に比べ160億3千8百万円増加しました。主な増加は有価証券106億7千8百万円、受取手形及び売掛金49億5千2百万円、投資有価証券29億8千9百万円であり、主な減少は現金及び預金99億1千6百万円であります。
- 負債は662億6千1百万円となり、前期末に比べ22億1千5百万円減少しました。主な減少は長期借入金24億1千1百万円、未払法人税等17億7千4百万円であり、主な増加は繰延税金負債19億1千8百万円であります。
- 純資産は2,282億7千3百万円となり、前期末に比べ182億5千3百万円増加しました。主な増加は利益剰余金74億5千万円、為替換算調整勘定62億8千3百万円、その他有価証券評価差額金22億4千万円であります。

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	前連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
売上高	173,381	175,123
売上原価	117,067	117,059
売上総利益	56,318	58,073
販売費及び一般管理費	41,124	40,587
営業利益	15,194	17,485
営業外収益	2,034	1,836
営業外費用	689	1,295
経常利益	16,538	18,026
特別利益	1,819	1,069
特別損失	835	954
税金等調整前当期純利益	17,523	18,141
法人税等	4,932	5,262
当期純利益	12,590	12,879
非支配株主に帰属する当期純利益	16	63
親会社株主に帰属する当期純利益	12,574	12,815

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	前連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	24,408	27,281
投資活動による キャッシュ・フロー	△17,606	△17,543
財務活動による キャッシュ・フロー	△8,402	△13,894
現金及び現金同等物に 係る換算差額	2,421	△1,878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	820	△6,034
現金及び現金同等物の期首残高	46,663	52,697
現金及び現金同等物の期末残高	47,483	46,663

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、244億8百万円の収入(前期は272億8千1百万円の収入)となりました。これは主に法人税等の支払額が58億7千8百万円、売上債権の増加が37億3千4百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が175億2千3百万円、減価償却費が128億1千万円あったことによるものです。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、176億6百万円の支出(前期は175億4千3百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が128億2千7百万円、事業譲受による支出が55億1千2百万円あったことによるものです。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、84億2百万円の支出(前期は138億9千4百万円の支出)となりました。これは主に短期借入金の純増加額が2億6千7百万円あったものの、配当金の支払額が51億1千万円、長期借入金の返済による支出が34億5千6百万円あったことによるものです。
- 以上の結果、当期における現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ8億2千万円増加し、474億8千3百万円となりました。

個別財務諸表（要旨）

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当事業年度末 （2021年 3月31日現在）	前事業年度末 （2020年 3月31日現在）
（資産の部）		
流動資産	111,198	96,732
固定資産	119,612	118,796
有形固定資産	48,606	43,319
無形固定資産	5,249	1,336
投資その他の資産	65,755	74,140
資産合計	230,810	215,528

科 目	当事業年度末 （2021年 3月31日現在）	前事業年度末 （2020年 3月31日現在）
（負債の部）		
流動負債	27,541	30,132
固定負債	22,840	24,573
負債合計	50,382	54,705
（純資産の部）		
株主資本	170,850	153,365
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,257	17,257
利益剰余金	146,529	129,043
自己株式	△7,869	△7,868
評価・換算差額等	9,577	7,457
純資産合計	180,428	160,823
負債及び純資産合計	230,810	215,528

損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当事業年度 （2020年4月1日から 2021年3月31日まで）	前事業年度 （2019年4月1日から 2020年3月31日まで）
売上高	115,618	106,608
売上原価	75,148	68,499
売上総利益	40,473	38,119
販売費及び一般管理費	31,037	29,043
営業利益	9,436	9,075
営業外収益	4,408	5,359
営業外費用	385	940
経常利益	13,459	13,494
特別利益	13,986	1,066
特別損失	1,604	842
税引前当期純利益	25,842	13,718
法人税等	3,231	3,015
当期純利益	22,610	10,703

当社の概要 (2021年3月31日現在)

商 号 日本化薬株式会社
 会 社 設 立 1916年6月5日
 資 本 金 14,932,922,842円
 従 業 員 数 5,664名(連結)
 (就 業 人 員) 2,401名(単体)

主要な事業所

本 社 東京都千代田区丸の内2-1-1
 工 場 福山(広島)、厚狭(山口)、東京(東京)、
 上越(新潟)、高崎(群馬)、姫路(兵庫)、
 鹿島(茨城)
 研 究 所 機能化学品(東京)、医薬(東京)、
 セーフティシステムズ開発(兵庫)、
 アグロ(茨城)

取締役、監査役および執行役員ならびに会計監査人 (2021年6月25日現在)

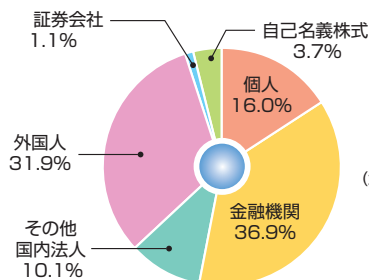
代表取締役社長	涌 元 厚 宏	専務執行役員	井 上 佳 美
専務取締役	渋谷 朋 夫	常務執行役員	伊 澤 孝 夫
専務取締役	三 上 浩	上席執行役員	川 村 茂 之
専務取締役	石 田 由 次	執行役員	広 重 修
専務取締役	小 泉 和 人	執行役員	小 柳 敬 夫
専務取締役	明 妻 政 福	執行役員	曾 川 俊 郎
専務取締役	太 田 洋	執行役員	井 上 晋 司
(社 外) 取締役	藤 島 安 之	執行役員	川 村 勉
(社 外) 取締役	房 村 精 一	執行役員	吉 岡 乾 一 郎
常任監査役 (常勤)	小 嶋 章 弘	執行役員	藤 田 卓 三
監査役 (常勤)	町 田 芽 久 美	執行役員	島 田 博 史
監査役 (社外)	東 勝 次	執行役員	加 藤 康 仁
監査役 (社外)	尾 崎 安 央	執行役員	湯 屋 秀 之
監査役 (社外)	山 下 敏 彦	会計監査人	EY新日本有限責任監査法人

企業グループの概要

■主なグループ会社 (国内) 株式会社ニッカファインテクノ、日本化薬フードテクノ株式会社
 (海外) モクステック, Inc.、カヤク アドバンテスト マテリアルズ, Inc.、無錫先進化薬化工有限公司、
 化薬化工(無錫)有限公司、カヤク セーフティシステムズ ヨーロッパa.s.、化薬(湖州)安全器材有限公司、
 カヤク セーフティシステムズ デメキシコ,S.A.de C.V.、カヤク セーフティシステムズ マレーシア Sdn.Bhd.

株式の状況 (2021年3月31日現在)

■発行可能株式総数 700,000,000 株
 ■発行済株式の総数 177,503,570 株
 ■株 主 数 15,540名(前期末比 1,881名増)
 ■所有者別株式分布状況(株式数比率)



(注)株式数比率は小数点第2位以下を切り捨てており、各項目の比率を加算しても100%にならない場合があります。

■大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,196	7.72
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)リシテスター インターナショナル インベスターズ インターナショナル バリュエーション	13,080	7.65
株式会社日本カステディ銀行 (信託口)	11,330	6.63
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) リューエス タックス エグゼクティブ ペンション フォンズ	7,080	4.14
カヤベスタークラブ	5,775	3.38
全国共済農業協同組合連合会	5,150	3.01
株式会社三菱UFJ銀行	5,090	2.98
株式会社常陽銀行	5,089	2.97
明治安田生命保険相互会社	4,843	2.83
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)アカウントノントリーティー	4,218	2.46

(注) 1.当社は、自己株式6,704,735株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
 また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 (その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。)
公告方法	電子公告(公告掲載URL https://www.nipponkayaku.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	4272

株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

◎ 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

◎ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

◎ 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際には、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。

◎ 特別口座に記録されている株式について

特別口座に記録されている株式は、そのままで市場で売買できません。様々な手続を円滑に行うためにも、証券会社等の口座へ振り替えられることをお勧めいたします。

証券会社等の口座への振替手続きの詳細については、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお問い合わせください。

◎ 『復興特別所得税』についてのご案内(このご案内は、2021年3月末時点での情報をもとに作成しております。)

2013年1月1日に『東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(平成23年法律第117号)』が施行され、**2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)に生じる所得には、その所得税額の2.1%が「復興特別所得税」として課税されることとなりました。**

株式等の配当金等も「復興特別所得税」の対象となり、源泉所得税を徴収する際、復興特別所得税が併せて徴収されますので、ご案内申し上げます。

なお、上場株式等の配当等に関する具体的な税率は、下表をご参照願います。

配当等の支払開始日		2021年 2037年	2038年～
上場株式等の 配当等に 係る税率	所得税	15%	15%
	復興特別所得税	0.315%	—
	住民税	5%	5%
合 計		20.315%	20%

- ・個人の株主様で発行済株式総数の3%以上の株式等をご所有される場合の税率は、左表の内容と異なります。
- ・配当等をお受け取りになる方が、法人の場合には住民税は課税されません。
- ・詳細につきましては、所轄の税務署にお問い合わせください。

Global "sukima" ideas



表紙「ロイクラトン祭り

灯籠(コムローイ)飛ばし」

服部 清和さん

(カヤク セイフティシステムズ マレーシア 施設部)

株主通信

2021年6月発行

編集・発行 日本化薬株式会社

法務部 コーポレート法務担当

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

TEL 03-6731-5918

URL <https://www.nipponkayaku.co.jp/>